

# 平成26年度事業成果発表会 アンケート集計結果

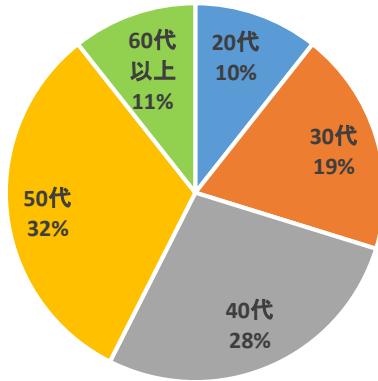
開催日：平成27年3月23日（月）

来場者数：99名

回答者数：47名

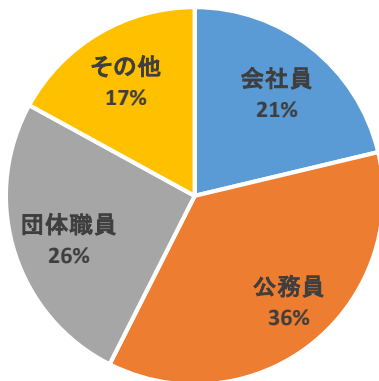
アンケート回収率：47%

## 1. 年代についてご回答ください。



年代	人数
20代	5
30代	9
40代	13
50代	15
60代以上	5

## 2. ご職業についてご回答ください。

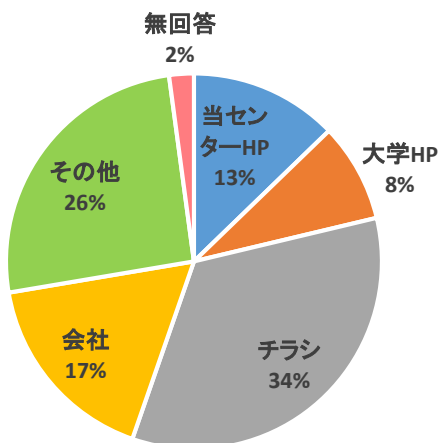


職業	人数
会社員	10
公務員	17
団体職員	12
その他	8

<その他回答>

- ・農家
- ・教員

## 3. 事業成果発表会を何で知りましたか？

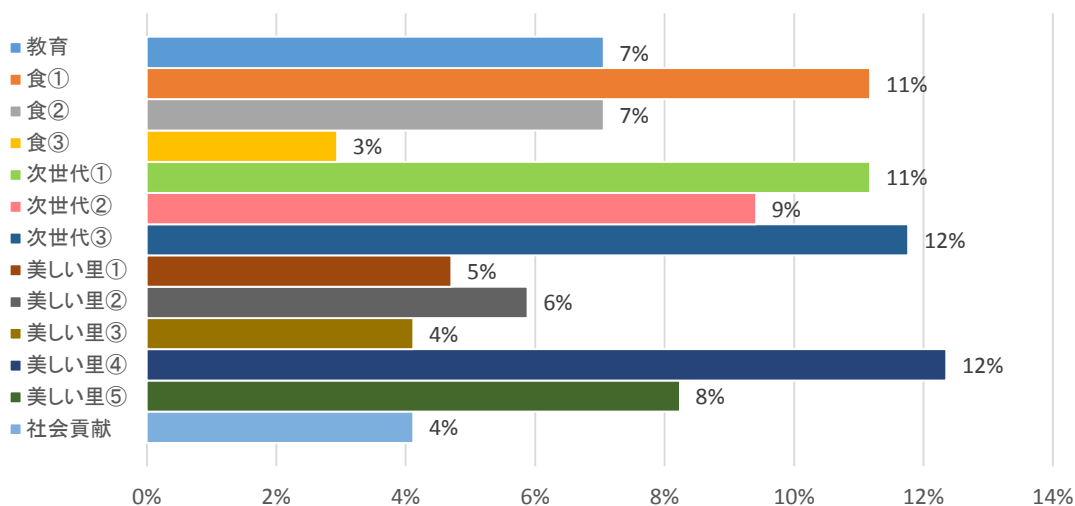


媒体	人数
センターHP	6
大学HP	4
チラシ	16
会社	8
その他	12
無回答	1

<その他回答>

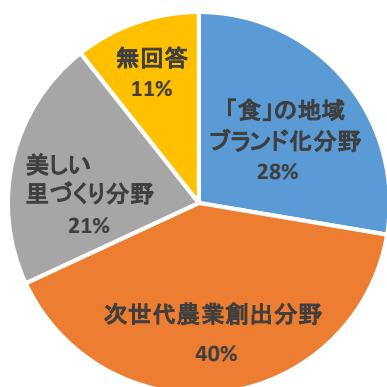
- ・関係者からの紹介
- ・知人からのメール

#### 4. 印象に残った発表はどれですか？（複数回答可）



	発表プロジェクト名
食①	醸造用ブドウ栽培の高度化のためのセンサネットワーク基盤の構築とその活用
食②	山梨県産の果実に含まれるペクチンの有効利用に関する研究
食③	ザクロ品種の探索及び類縁関係解明・評価に関する研究
次世代①	マメ科緑肥を利用した有機農業技術の開発
次世代②	次世代ぶどう栽培における太陽光発電の有効性の検証
次世代③	気象センサ（フィールドサーバー）利用によるブドウ栽培基盤技術の開発
美しい里①	大学教養課程における地域連携講義の展開と課題
美しい里②	Eリア放送を活用した地域課題発見型コンテンツ作成の実践
美しい里③	地域の公共交通改善をきっかけとする地域運営による内発的地域活性化
美しい里④	新たな着地型観光の推進と地域コーディネーター育成
美しい里⑤	地域防災リーダー育成

#### 5. 今後、どの分野に取り組んでほしいですか？



分野	人数
「食」の地域ブランド化	13
次世代農業創出	19
美しい里づくり	10
無回答	5

##### <自由記述回答>

- 食の地域ブランド化分野
  - ・山梨の魅力が一番発揮できそうだから。
- 次世代農業創出
  - ・儲かる農業の実現につながる技術等が開発できるような分野
  - ・農業における土壌微生物を簡易的に確認でき、農家の収入が向上するための分野。
  - ・土業との連携。例えば技術士会や弁理士会。
- 美しい里づくり分野
  - ・農業の担い手が不足している。若い担い手が参加できるようなオープンカレッジの開催・教育環境の充実。
  - ・地域に根ざした人材育成

6. ご意見・ご感想をお聞かせください。

1. 醸造用ブドウ栽培の高度化をもっと分かり易く。防災の塩山一ノ瀬の話にびっくりした。
2. どの発表も内容の必要性、重要性が伝わってきた。充実した発表会だったと思います。
3. 平成26年度採択校で発表会ができるのは素晴らしいです。
4. 山梨大学と地域（山梨県）との従来からのつながりがCOC事業に活かされていると感じた。大変参考になった。
5. 全学的な取り組みとして拡大していただきたい。特に在学生への周知が重要です。養成する人材が具体的にどのような職業につながるか成果（在学生の就職）を期待します。
6. 本年度は4ヶ月での取り組みでの報告会であるので仕方ないが、H27年度以降は成果の部分を詳しく聞きたい。
7. 来年度以降の成果も気になります。
8. 発表時間が短すぎる。もう少し丁寧な発表を聞きたい。
9. 大学先生方の発表だけでなく、参加した学生・関係機関の方々の発言も取り入れて欲しい。
10. ポスターセッションの時間がもう少し欲しかった。
11. 100名限定でしたが、壁際に椅子を置けばあと30名は入れたと思います。なるべく多くの方に聞いていただけるよう工夫しても良かったと思います。
12. 山梨大学ワインセミナーを東京ではなく、山梨県内でも開催してほしい。
13. 地域経済の発展を目指すうえでも、経済分野の研究参画が必要。